

初産婦において凍結融解胚移植妊娠群で非 ART 妊娠群ならびに、新鮮胚移植妊娠群に比べ出生児体重が増加した
Birth weight following vitrified-warmed embryo transfer was higher than those in the cases of non-ART and fresh embryo transfer in primipara.

柴田 美智子 伊藤 啓二郎 佃 笑美 佐藤 学 赤松 芳恵 橋本 周

前沢 忠志 姫野 隆雄 大西 洋子 井上 朋子 中岡 義晴 森本 義晴

Michiko SHIBATA, Keijiro ITO, Emi TSUKUDA, Manabu SATOH, Yoshie AKAMATSU,

Shu HASHIMOTO, Tadashi MAESAWA, Takao HIMENO, Youko OHNISHI, Tomoko INOUE, Yoshiharu NAKAOKA, Yoshiharu MORIMOTO

IVF なんばクリニック

The Centre for Reproductive Medicine and Infertility, IVF Namba Clinic

【目的】高度生殖補助医療（ART）による妊娠分娩数が増加するにつれ、ART が新生児に及ぼす影響を調査する必要性が指摘されている。今回我々は非 ART 妊娠、新鮮胚移植後妊娠、凍結融解胚移植後妊娠での出生時体重を在胎週数別に検討した。また、経産婦は初産婦に比べ出生時体重が増加する傾向があることから、初産婦のみを対象にした結果を報告する。

【方法】2004-2011 年に当院で単胎妊娠後、分娩した 2519 例（非 ART 群:690 例、新鮮胚移植群:655 例、凍結胚移植群:1174 例）を対象とした。各群間での在胎週数別の出生時体重と早産発生率を比較した。統計解析は分散分析後、Fisher の PLSD 検定により実施した。

【結果】妊娠時年齢はそれぞれ非 ART 群:33.9 歳、新鮮胚移植群:34.6 歳、凍結胚移植群:35.0 歳で、新鮮胚移植妊娠と凍結融解胚移植妊娠に比べ非 ART 妊娠で有意に低く ($p<0.05$)、また帝王切開率はそれぞれ非 ART 群:25.3%、新鮮胚移植群:27.6%、凍結胚移植群:45.0%で非 ART 妊娠と新鮮胚移植妊娠に比べ凍結融解胚移植妊娠で有意に高かった ($p<0.05$)。

3 群間の平均体重はそれぞれ非 ART 群 2996.2g、新鮮胚移植群 2966.6g、凍結融解胚移植群 3063.6g と凍結融解胚移植群の出生児体重が他群に比べ有意に高かった ($p<0.05$)。次に、在胎週数別の平均体重は非 ART 群、新鮮胚移植群、凍結胚移植群の 3 群でそれぞれ 36 週(2553.9g、2524.5g、2655.4g)、37 週(2778.9g、2845.0g、2792.7g)、38 週(2880.7g、2832.1g、3017.9g)、39 週(3020.6g、3010.8g、3083.6g)、40 週(3150.0g、3141.1g、3223.4g)、41 週(3211.2g、3287.0g、3320.5g)であり、38、40、41 週で凍結胚移植群は非 ART 群と新鮮胚移植群に比較して有意に重かった ($p<0.05$)。有意差は無いものの他の週数でも凍結融解胚移植群は非 ART 群と新鮮胚移植群に比べ、出生児体重が高い傾向が認められた。

早産発生率は非 ART 群、新鮮胚移植群、凍結胚移植群で 5.8%、5.0%、7.5%で、3 群間で差は認められなかった。

【考察】非 ART 群と新鮮胚移植群で出生児の体重に差は認められなかった。その一方で、凍結融解胚移植群の出生児体重が新鮮胚移植群より重かった。凍結融解胚移植妊娠では帝王切開率が高かった事が影響しているかもしれない。凍結・融解操作の影響も示唆された。2011 年度の厚労省補助研究調査においても同様の結果が報告されており、今後凍結・融解操作の影響を詳細に検討していきたいと考えている。